

# 企業ニュース **ベйкаレント・コンサルティング**

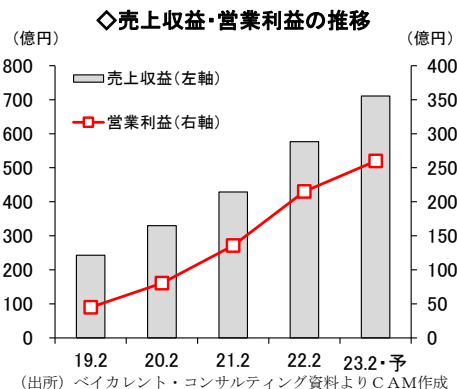
(東証プライム : 6532) <https://www.baycurrent.co.jp/>

作成者: 村上大志

## 国内独立系の総合コンサルティングファーム

企業の経営・業務・ITに関する知見を有するコンサルタントを擁し、企業経営者に対し戦略立案からビジネスプロセスの改革、実行までをワンストップで提供する国内独立系の総合コンサルティングファーム。特にIT関連に強く、クライアントの事業部門やITシステム部門に対し、DX（デジタルトランスフォーメーション）実現のためのITシステムの導入検討から企画設計、開発、導入、保守運用までの各種支援を行う。中期経営計画では売上・利益ともに年平均成長率20%を継続し、26.2期の売上高1,000億円、EBITDA※300億円超を目指す。

※EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費±その他調整



## コンサルタント数は順調に増加、稼働率は高水準で推移

22.2期の業績は売上収益が576億円、前期比34%増、営業利益が215億円、同59%増。人材の積極採用によりコンサルタント数は2,369人、同22%増。コンサルタントの年間平均稼働率は90%超と、高水準で推移した。採用費や人件費が増加した一方で、DXなどに関する新たなノウハウや知識の蓄積・利活用によりソリューションの高付加価値化が進展したことで、コンサルタント1人あたりの単価が上昇し営業利益率は37.3%と、同5.7ポイント改善した。

23.2期の会社計画は売上収益が711億円、前期比23%増、営業利益が260億円、同21%増。各企業においてDXやサステナビリティを中心に積極的な投資が継続している。会社側は今期もコンサルティングニーズは強い状況が続くことを想定しており、コンサルタントの年間平均稼働率は90%前後を見込んでいる。積極的な採用を継続し今期末のコンサルタント数は同18%増の2,800人超を目指す。DX関連ではメタバース空間を活用した新規事業の企画立案、サステナビリティ関連ではデジタル技術導入による地方創生の推進といったコンサルティングの需要拡大が期待される。

## [株価動向・投資判断]

国内コンサルティング市場規模の拡大が予想される中、積極的な採用によるコンサルタントの人員増加と高付加価値化による単価上昇で業績拡大が期待できよう。

<6532 ベйкаレント 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
21.2	42,873 ( 30)	13,551 ( 69)	13,477 ( 69)	10,014 ( 69)	654.5	170.00
22.2	57,642 ( 34)	21,518 ( 59)	21,469 ( 59)	15,544 ( 55)	1,013.9	260.00
23.2 予	71,100 ( 23)	26,000 ( 21)	25,960 ( 21)	18,450 ( 19)	1,204.0	300.00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2022/5/6)	42,100 円
年初来高値 (高値日)	49,100 円 (22/3/1)
同 安値 (安値日)	35,150 円 (22/1/14)
予想 P E R (23.2 予)	35.0 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	2,716.0 円
P B R	15.50 倍
予想配当利回り	0.71 %
(1株当たり配当金年300.00円)	
R O E (22.2)	37.3 %
発行済み株式数	1,554 万株